

2010年 標準古典 レポート 3

古典の授業は、すべてプレゼンテーション形式で行うため、2010年6月6日のスクーリングから、原則、視聴覚教室で行います。

漢詩の鑑賞

子衿・七歩詩・雑詩・遊子吟・売炭翁

子衿

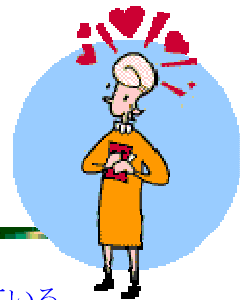
青	青	子	衿	悠	悠	我	心	青青たる子が衿	悠悠たる我心
縦	我	不	往	子	寧	不	嗣	音	
		縦	(たと)	ひ我往	かずとも	子寧	(なん)	ぞ音を嗣	(つ)がざる
青	青	子	佩	悠	悠	我	思	青青たる子が佩	悠悠たる我思ひ
縦	我	不	往	子	寧	不	来	縦ひ我往	かずとも 子寧ぞ来たらざる
挑	兮	達	兮	在	城	闕	兮	挑(とう)	たり達たり 城闕にあり
一	日	不	見	如	三	月	兮	一日見	ざれば 三月の如し

出典《詩經》・(恋愛の歌)

大意 手紙を書いてほしい、会いに来てほしい。浮かれて遊ぶあなたのことを、わたしは切なく思い続ける。

詩形 四言古詩。

押韻 韻は第一章「衿・心・音」(本韻)第二章「佩・思・来」(叶韻)第三章「達・闕・月」(通韻)。

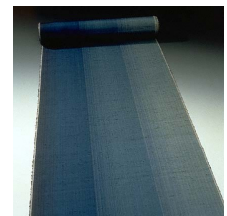
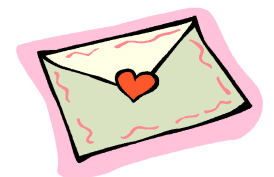


レポート一

ヒント 「子」とは男性への尊称。この場合、「わたし」(娘)から恋慕されている「あなた」は男性になる。

レポート二

- 1 ヒント 子(し) 寧(なん) ぞ音(おと) を嗣(つ) がざる
問題文を良く読んで、「平仮名」のみの書き下し文にしてください。
- 2 現代語訳を参照。
- 3 ヒント 挑(とう) たり達(たつ) たり
問題文を良く読んで、「平仮名」のみの書き下し文にしてください。
学習書には挑(ちょう) たりとありますが、その読み方でも結構です。
- 4 現代語訳を参照。自由気ままにしているのは「子」です。
画像出典：IPA「教育用画像素材集サイト」 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>



意訳

あなたの襟
青い襟のあなた！
果てなく続くわたしの思い。
たとえわたしがあなたに会いに行かなくても、
あなたはなぜに便りをくださらないの？
青いおびひものあなた！
果てなく続くわたしの思い。
たとえわたしがあなたに会いに行かなくても、
あなたはなぜに来てくださらないの？
自由きままに、
（あなたは）町の人ごみの中にいる。
一日あなたに会わないと、
三月のようにも思われる。



閑話休題

娘さんに恋い慕われているのに、遊びまわる青年。同じ、女性の立場から考えると、そんな軽薄な遊び人はやめておきなさい、と老婆心から忠告もしたくなります。が、その娘さんは青年を恨みながらも、恋い慕ってしまう。なんとも、せつない恋心です。しかし、この詩には、①青い衿の学生が遊びふけているのを非難し、復学を呼びかけたもの。②男に恋心を寄せる女の歌。③春の神を迎える乙女たちの心を歌った歌。という三つの解釈があります。（参考文献 石川忠久 前野直？編『漢詩の解釈と鑑賞辞典』（旺文社 1979 初版）今日では、学習書にあるように、②の解釈が通説となっています。興味深いですね。

復習 漢詩のきまり

近体詩の場合、一行の漢字が5字なら五言。7字なら七言。

四行なら、絶句。八行なら律詩。近体詩の場合、五言絶句と七言絶句、五言律詩と七言律詩がある。押韻とは、リズムを整えるために、行末の漢字の音をそろえること。五言絶句と五言律詩の場合は、原則として、偶数句に押韻し、七言絶句と七言律詩の場合は、第一句と偶数句に押韻する。絶句の場合「起承転結」で構成される。子衿は古詩のため、近体詩のような形式をとっていない。

五言絶句 ●が押韻する文字。

○○○○○ 起
○○○○● 承
○○○○○ 転
○○○○● 結



七言絕句

○○○○○○○● 起
○○○○○○○● 承
○○○○○○○○○ 轉
○○○○○○○● 結



五言律詩

○○○○○
○○○○○●
○○○○○
○○○○○●
○○○○○
○○○○○●
○○○○○
○○○○○●



七言律詩

○○○○○○○●
○○○○○○○●
○○○○○○○○○
○○○○○○○●
○○○○○○○○○
○○○○○○○●
○○○○○○○○○
○○○○○○○●



七歩詩

煮豆持作羹 豆を煮て羹と作（な）し、
漉叔以爲汁◎（←押韻） 叔を漉（こ）し以て汁と為す。
其在釜下燃 其は釜の下に在りて燃え、
豆在釜中泣◎ 豆は釜の中に在りて泣く。
本自同根生 本同根より生ずるに、
相煎何太急◎ 相煎ること何ぞ太（はなは）急なる。

意味

豆を似て鍋ものを作り、
つぶした豆をしぼって汁をとる。
豆がらは釜の下で燃やされ、
豆は釜の中で泣く。
もとは同じ根から生まれ出たのに、
なぜこうも煎られねばならないのか。



この詩の作者曹植について

（右の図は、顧愷之「洛神賦圖」）

- ◆曹植（192年～232年）は曹操の三男で、曹丕の弟。
- ◆中国後漢末 三国魏の漢詩人で、唐以前最高の評価を受ける。
- ◆ その才能によって、かつて父曹操より太子にされようとしたこともある。
- ◆父の死後、曹丕と曹植が後継ぎを争っていたが、曹丕が勝ち抜いた。
- ◆曹丕らによって種々の迫害を受けた。図はフリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

七歩詩について

- ◆曹操の死後曹丕が帝位についた。
- ◆祝の参内に遅れたことを理由に曹植を召してこの場で七歩あゆむ間に兄弟という言葉を使わずに兄弟を題した詩を一首作れ。出来なければ処分すると命じ、曹植はこの七歩詩を読んだ。
- ◆兄弟間の争いを悲しんだ詩と言われている。（『世説新語』文学篇より）

閑話休題

教科のページを更新し始めて、困った問題は、挿絵や図の著作権の問題でした。

HP で公開するものですから、著作権を無視して図を貼り付けるわけにはいきません。

そこで、レポート1 では、このページを作成していたソフトが使用を認めている図を使用しました。

レポート2 では、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構「教育用画像素材集」）が学校等教育機関等における教育目的での利用に限り、無償で利用することができる画像を使用しました。

ところが、IPA では、中国の歴史的人物等の画像はほとんどありません。

困り切って、ウィキペディアを検索したところ、画像ファイルの詳細をしらべ、それが、パブリックドメイン画像なら、著作権の問題なく、無償利用が可能ということが判明しました。

今回の曹植 曹操らの画像はすべてウィキペディアのパブリックドメイン画像です。



曹植の兄の曹丕

曹操と下氏との長子として生まれ、文武両道の素質を持った人物に成長。

217年、父の曹操から太子に正式に指名される。一般にはこの時、弟曹植と激しく後継争いをしたと言われる。

曹操・曹植と同じように文人としても知られ、その多くの優れた詩は『文選』に収められている。



曹植 曹丕の父親の曹操について

曹操(字は孟徳/沛国[言焦]県/155-220.1/太祖武皇帝)

中国三国時代の英雄。

文才でも史上名高い。

魏の実質上の創始者。許子将に「治世の能臣、乱世の奸雄」と評された。

曹操を奇策で苦しめた蜀の軍師が**諸葛孔明**。右の図は諸葛孔明。図はフリー百科事典

『ウィキペディア (Wikipedia)』による。

赤壁の戦い

赤壁の戦い（せきへきのたたかい、中国語：赤壁之戰）は、中国後漢末期の**208年**、長江の赤壁[1]において起こった**曹操軍と孫権・劉備連合軍の間の戦い**である。建安13年(208年)冬、曹操は15万の軍を南下させ、病死した劉表の後を継いだ劉琮を降し、長江を下って孫権領へ攻め込もうとした。だが孫権軍**周瑜**の部将黄蓋の策略に引っかかった曹操軍の軍船は火攻めに遭い、疫病に悩まされていたことも重なり、撤退を余儀なくされた。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

*「ミッションインポッシブル2」で有名なジョン・ウー（呉宇森）監督の「レッドクリフ I・II」は「赤壁の戦い」を題材にした映画です。この映画は、羅貫中の小説『三国志演義』を基にしていますので、史実とは違う部分もたくさんありますが、迫力ある映像が楽しめると思います。個人的には、「レッドクリフ I」の方が好きです。『三国志演義』はレポート NO.11 でも取り扱います。請期待。

陶潜・陶淵明（とうえんめい） 雑詩

陶淵明（365年 - 427年11月）は、中国六朝時代の東晋末から南朝宋にかけて活躍した漢詩人。名は淵明、字を元亮。または名を潜、字を淵明という。その自伝的作品『五柳先生伝』から五柳先生とも呼ばれる。下の人物が陶淵明。

出典フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

雑詩 陶潜

人生無根蒂 飄如陌上塵

分散逐風轉 此已非常身

落地為兄弟 何必骨肉親

得飲當作樂 斗酒聚比隣

盛年不重来 一日難再晨

及時當勉勵 歲月不待人

*五言古詩。□で囲んだ字が押韻している字です。



雑詩 書き下し文

- ◆人生 根蒂（こんてい）無し。
- ◆飄（ひょう）として陌上（はくじょう）の塵のごとし。
- ◆分散し風を逐（お）ひて転じ、
- ◆此れ已に常の身に非ず。
- ◆地に落ちて兄弟と為る。
- ◆何ぞ必ずしも骨肉の親のみならんや。
- ◆飲びを得ては当に楽しみを作（な）すべし。
- ◆斗酒（としゅ）もて比隣（ひりん）を聚（あつ）めん。
- ◆盛年 重ねては来たらず。
- ◆一日（いちじつ） 再びは晨（あした）なり難し。
- ◆時に及んで当に勉勵すべし。
- ◆歲月（さいげつ） 人（ひと）を待（ま）たず。

雑詩 大意

◆人生には木の根や果実のへたのようなしっかりしたものがない。

- ◆あたかもふわふわと風に漂う路上のほこりのようなものだ。
 - ◆だからばらばらにちらばり、風のまにまに転がされてしまい、
 - ◆この身はもはや、永遠不変の身ではない。
 - ◆われわれはだれもみな、地に落ちて兄弟となる。
 - ◆どうして骨肉を分け合った肉親の兄弟だけが兄弟となるのだろうか、いや、われわれはみな兄弟となる。
 - ◆よろこばしいことがあれば心ゆくまで楽しむのがよいだろう。
 - ◆一斗の酒でもあれば、さあ隣近所の兄弟を集めよう。
 - ◆若い時は二度とは来ない、
 - ◆一日に朝の二度来ることはあり得ないように。
- その時その時に、心ゆくまでその楽しみに励むのがよい、
- ◆歳月は人を待たないのだから。

大意

人生ははかなく虚しいから、人と生まれたからは、だれとも親しく分け隔てせず、楽しいときはその楽しみを尽くせ。時はひたすら流れ、その時は二度とは来ないものだから。

注意！

みなさんのレポートを拝見していると、「勉強」の語を「学問」「道徳」「仕事」ととらえ、一生懸命に勉強しなさいと解釈している方が多いようです。しかし、この詩の中では、行楽にはげめ、の意味です。ここでは、時の無常を知って、それを取り逃がすなというと言っています。ご注意ください。

遊子吟 孟郊*五言古詩。韻は「衣・帰・暉」

慈母手中線 慈母 手中の線。 母の手の中で糸がおどる。
遊子身上衣 遊子 身上の衣。 仕立てているのは私の旅立ち衣装。

臨行密密縫 →レポート設問九
行に臨んで密密に縫ふ。

我が子の旅立ちに臨んで、一心に縫いつつも、母は不安をぬぐえない。

意恐遲遲歸 意に恐る遅遅として帰らんことを。子どもは無事に帰るだろうか。

→ レポート十

誰言寸草心 誰か言はん。寸草の心。 親を思う子の気持ちは、草の丈ほどのもの。

報得三春暉 三春の暉に 報い得んと。 陽春の光のごとき母の愛にはかなわない。

→レポート十一

大意

母と子は糸と衣のようなもの、糸がなければ衣はできない。母は糸に思いをこめて子の衣を縫う。容易なことでは報いることができないほどに、母の愛は大きく深く細やかである。



画像出典：IPA「教育用画像素材集サイト」 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>

売炭翁 白居易



「白居易」

画像出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

白居易について

白居易は中唐の詩人です。若い頃は「新楽府運動」を展開し、社会や政治の実相を批判する「売炭翁」などの「諷諭詩（風諭詩）」を多作しました。

白居易の詩は中国国内のみならず、日本や朝鮮のような周辺諸国の人々にまで愛好され、日本には白居易存命中の 844 年に、平安時代の留学僧惠萼により 67 巻本の『白氏文集』が伝来しています。

白居易の詩は平安文学に多大な影響を与え、当時の貴族社会に広く浸透しました。

平安貴族は、特に「長恨歌」「琵琶行」などの感傷の詩や日常のささやかな喜びを主題とする「閑適詩」を好んだようです。

菅原道真の漢詩は白居易と比較され、紫式部が上東門院彰子に白居易の詩を教授したという事実もそれを示唆しています。文学作品では、清少納言の『枕草子』に『白氏文集』が登場し、さらに『源氏物語』も白居易の「長恨歌」から大きな影響を受けています。

売炭翁 書き下し文

売炭翁 薪（たきぎ）を伐（き）り 炭を焼く 南山の中。
满面の塵灰（ちんくわい） 煙火（えんくわ）の色、
兩鬢 蒼蒼（さうさう）として 十指 黒し。
炭を売って 錢（ぜに）を得て 何の營（いとな）む所ぞ。
身上の衣裳（いしょう） 口中の食。
憐（あはれ）む可（べ）し 身上 衣 正に單（ひとへ）なるを。
心に 炭の賤（やす）きを 憂へ 天の寒からんことを 願ふ。
夜來 城外 一尺の雪。
曉（あかつき）に 炭車を駕（が）して 氷轍（ひょうてつ）を 輾（きし）らしむ。
牛は 困（つか）れ 人飢ゑて 日 已（すで）に高く、
翩翩（へんぺん）たる 兩騎 來（きた）るは 是（こ）れ誰ぞ。
黄衣の使者 白衫（はくさん）の兒（じ）。
手に 文書を把（と）り 口に 勅と稱し、
車を廻（めぐ）らし 牛を叱（しつ）して 牽（ひ）きて北に向かはしむ。

←レポート十五 書き下し文

一車の炭の重さ 千餘斤。

官使 驅（か）り將（も）て 惜み得ず。

半匹の紅（こうしゃ） 一丈の綾（あや）、

牛頭に繫（か）けて 炭の直（あたひ）に充（あ）つ。←レポート十六

売炭翁 白楽天 意訳

炭を売るじいさんがいて
終南山で木を切って炭を焼く。
顔中塵や灰にまみれてすす色をして
左右の髭はごましおになり、指は十本とも真っ黒だ。
炭を売って金もうけして何にするかと言えば
身につける衣裳と食べ物を買うだけだ。
気の毒にも体には単衣物を着ているくせに
内心では炭の値が安いのもっと寒くなれと考えている。

→レポート十二 この訳にあてはまる部分を教科書の漢文から、返り点や送りがなをとった形（白文）で書きましょう。

→レポート十三 「寒くなると」炭売りのじいさんにはどのような利益がでますか。

昨夜から長安城外では雪が一尺も積もったので
明け方に炭の車を出して氷の上をギーギーと音をたててやって来た。
牛が疲れ、自分も腹が減ったし、日も高くなるので
市場の南門のはずれの泥の中で休憩した。

勢いよく駆けて来た二人の騎士は誰か。

黄衣をつけた天子の使者と白い練り絹の若者だ。

← レポート十四・十五この部分にあてはまる語句。を教科書の漢文から抜き出しましょう。

手には書き付けを持ち、口では天子の命令だと言って

車の方向を変え、牛を追い立てて、車を北に向けて引っ張らせた。←レポート十五 現代語訳
この車一台の炭の重さは何千斤だが

宮中の使者が追い立てるので惜しいともいえない。

モミの絹半疋とアヤ一丈とが

←レポート十六。この部分にあたる語句を教科書の漢文から抜き出しましょう。

牛の頭にぶらさげられて炭の代価になった。

レポート十七 ヒント

*半匹・一丈とは？→半匹 約6 m 一丈 約3 m

当時の絹織物一疋の値段が八百文で、米一斗（十八 $\frac{1}{10}$ ）が一千五百文だったという。そうしてみれば、車一杯に積んだ炭の代価が、半疋の紅ショウと一丈の綾絹では、概算六百文であり、四升（ $1.8\frac{1}{10} \times 4 = 7.2\frac{1}{10}$ ）の米代にすぎない。（参考文献 石川忠久 前野直？編『漢詩の解釈と鑑賞辞典』（旺文社 1979 初版 p.333）

*若者二人が炭の値段として払ったお金は高いか安いかわかるか？

平成 22 年現在、ホームセンターでバーベキュー用に販売している炭を 1 キロ約 270 円として計算し、車一台の炭の重さを 113 キロ（注）と仮定すると、

$113 \times 270 = 30510$ 円。ところが、大量購入した場合は、炭 1 kg は 100 円程度。

$113 \times 100 = 11300$ 円

計算してわかる衝撃の事実！

米一升の米の重さを量ると 1.5 kg 程度になる。つまり、四升は 6 kg 程度。

平成 22 年 5 月 28 日現在の米の値段 産地直送米の場合、米 6 kg なら、4000 円から 1500 円（参考 HP 「米の値段」 <http://shikoku-net.co.jp/koyama/komekakaku.htm>）

炭を作る日数

山村の生活に詳しい方にうかがったところ、木を切り出すところから初めて、約十日間。

売炭翁の生活費

10 日間の重労働により、11300 円の収入が見込まれるとしたら、一日あたり、1300 円。

→これでも かなり極貧です。だから、売炭翁は以下のように描かれています。

炭を売って金もうけして何にするかと言えば

身につける衣裳と食べ物を買うだけだ。

気の毒にも体には単衣物を着ているくせに

内心では炭の値が安いのもっと寒くなれと考えている。

しかし、「**黄衣使者 白衫兒**」は、10 日間の重労働の収入として仮定される 11300 円の炭を 1500 円で買ったたいています。つまり、売炭翁は、次に炭を焼き、製品化するまでの、10 日間を、一日 150 円で、しかも重労働をおこなないながら生活することになります。

もしも、あなたが、同じ事をされたら、どう思いますか？

閑話休題

車一台の炭の重さが 113 kg という根拠は、奥州市牛の博物館発行の「牛のはくぶつかんニュース」(平成 22 年 2 月 22 日 NO.34 <http://www.isop.ne.jp/atru/mhaku.html>) によります。佐藤徳治氏所有の「鮮短」という名前の 7 歳の牛は、800 kg の木材を、4 km ほどの山道を運ぶことができたそうです。なお、一般に牛が運べる平均的な重量は、約 30 貫目 (113kg) とされています。「奥州市牛の博物館」では、この学習の参考になるたいへん貴重な画像を所有してみえます。現在、HP 転載の許可申請をおこなっています。HP 転載の許可が認められたら、随時アップします。

レポート十八 ヒント

「古典を学ぶ意義」について、授業をうけて、考えたことを自由に論述してください。